

平成28年度 埼玉県推奨図書(諮問図書)一覧表

	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(本体)	コード
1	乳幼児	どろきょうりゅう	中川ひろたか・鈴木翼／作 市居みか／絵	世界文化社	¥1,300	978-4-418-15809-6
2	乳幼児	おじよらぼん	はせがわせつこ／文 さいとうとしゆき／絵	福音館書店	¥800	978-4-8340-8125-9
3	乳幼児	あーと いったよ あー	小野寺悦子／ぶん 堀川理万子／え	福音館書店	¥900	978-4-8340-8151-0
4	乳幼児	ことりのみずあび	マリサビーナ・ルツ／作 なかがわちひろ／訳	あすなろ書房	¥1,500	978-4-7515-2802-0
5	乳幼児	ハートの はっぱ かたばみ	多田多恵子／ぶん 広野多珂子／え	福音館書店	¥900	978-4-8340-8156-5
6	小学校低学年	うめぼしさん	かんざわとしこ／文 ましませつこ／絵	こぐま社	¥1,200	978-4-7721-0224-7
7	小学校低学年	サムとデイブ、あなをほる	マック・バーネット／文 ジョン・クラッセン／絵 なかがわちひろ／訳	あすなろ書房	¥1,500	978-4-7515-2714-6
8	小学校低学年	わたし、もうすぐ2ねんせい！	くすのきしげのり／作 江頭路子／絵	講談社	¥1,400	978-4-06-133282-9
9	小学校低学年	しましまかしてください	林なつこ／作	教育画劇	¥1,300	978-4-7746-2023-7
10	小学校低学年	おならくらげ	ささきあり／作 ザ・キャビンカンパニー／絵	フレーベル館	¥1,000	978-4-577-04338-7
11	小学校中学年	なかよしヤギー家のECOプロジェクト	深山さくら／文	佼成出版社	¥1,300	978-4-333-02707-1
12	小学校中学年	電車でノリノリ	新井けいこ／作 たかおかゆみこ／絵	文研出版	¥1,200	978-4-580-82275-7
13	小学校中学年	あひる	石川えりこ／作	くもん出版	¥1,500	978-4-7743-2402-9
14	小学校中学年	バイバイ、わたしの9さい！	ヴァレリー・ゼナッティ／作 伏見操／訳 ささめやゆき／絵	文研出版	¥1,200	978-4-580-82221-4
15	小学校中学年	あしたがすき	指田和／文 阿部恭子／絵	ポプラ社	¥1,300	978-4-591-14810-5
16	小学校高学年	戦火の三匹 ロンドン大脱出	ミーガン・リクス／作 尾高薫／訳	徳間書店	¥1,600	978-4-19-864050-7
17	小学校高学年	アカシア書店営業中！	濱野京子／作 森川泉／絵	あかね書房	¥1,200	978-4-251-04424-2
18	小学校高学年	ニレの木広場のモモモ館	高樓方子／作 千葉史子／絵	ポプラ社	¥1,400	978-4-591-14682-8
19	小学校高学年	いくたのこえよみ	堀田けい／著	理論社	¥1,300	978-4-652-20085-8
20	小学校高学年	モンキードッグの挑戦 野生動物と人間の共存	あんずゆき／著	文溪堂	¥1,300	978-4-7999-0161-8
21	中学校	光を失って心が見えた 全盲先生のメッセージ	新井淑則／著	金の星社	¥1,400	978-4-323-06090-3
22	中学校	コービーの海	ベン・マイケルセン／作 代田亜香子／訳	鈴木出版	¥1,600	978-4-7902-3309-1
23	中学校	すぐそこに、カヤネズミ 身近にみよす野生動物を守る方法	畠佐代子／著	くもん出版	¥1,400	978-4-7743-2416-6
24	中学校	グッドジョブガールズ	草野たき／著	ポプラ社	¥1,400	978-4-591-14620-0
25	中学校	テオの「ありがとう」ノート	クロディーヌ・ル・グイック＝プリエト／著 坂田雪子／訳	PHP研究所	¥1,400	978-4-569-78534-9
26	高校・青年	The Modern モダン	原田マハ／著	文藝春秋	¥1,300	978-4-16-390242-5
27	高校・青年	その姿の消し方	堀江敏幸／著	新潮社	¥1,500	978-4-10-447105-8
28	高校・青年	恋したひとは車いす	酒井朋子／著	徳間書店	¥1,400	978-4-19-863964-8
29	高校・青年	日曜日のハローワーク	小田豊二／著	東京書籍	¥1,400	978-487-80934-9
30	高校・青年	大村智物語 ノーベル賞への歩み	馬場錬成／著	中央公論新社	¥900	978-4-12-004808-1

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1480	どろきょうりゅう	きょうりゅう好きのてるくんが作ったどろだんごから どろきょうりゅうが生まれた。子どもたちの表情が生き生きしている。色づかいがいい。子どもの気持ちに沿っている絵本である。	(1) (3) (4) (9)	
	世界文化社	選定理由		
	中川ひろたか・鈴木翼／作 市居みか／絵	どろきょうりゅうとてるくん、子どもたちの交流を通して、豊かな人間関係が育まれている様子がわかる。		
1481	おじよらぼん	「おじよらぼん おじよらぼん ねんねんねん」というおまじないで、にわとり、やぎ、牛などの動物親子が寄り添って寝ている姿を描いた絵本である。リズムのいい同じ言葉の繰り返しは心地よい。	(4) (9)	
	福音館書店	選定理由		
	はせがわせつこ／文 さいとうとしゆき／絵	「おじよらぼん おじよらぼん ねんねんねん」というおまじないで、にわとり、やぎ、牛などの動物親子が寄り添って寝ている姿を描いており、親が子に注ぐ視線がたたかく、親子の愛情を育む手助けとなる絵本である。リズムのいい同じ言葉の繰り返しは心地よく、子どもが寝る前に読んでもらうのに適している。		
1482	あーと いってよ あー	いろいろな場面で「あー」という言葉を発することを絵で表現しようとしている。口を叩いた場合、胸を叩いた場合、喉に手を当てた場合、いろいろなシチュエーションなど、工夫された絵の表現になっている。実際に声を出して体験できる本である。	(2) (6) (9)	
	福音館書店	選定理由		
	小野寺悦子／ぶん 堀川理万子／え	「あー」という単純な言葉を、口を叩いたり、胸を叩いたり、喉に手を当てたり、実際に体験しながら読み進めることができる。いろいろな「あー」という場面設定は、子どもたちの創造力を養い、かつ、自ら体験することで知識を得ることもできる。また、集団での読み聞かせにも向いている。		
1483	ことりのみずあび	雨上がりの朝、小鳥が水あびできるみずたまりを探す話。小鳥が見つけた水たまりに飛び込んでくるボールや子どもや犬を表現する擬音語が効果的に使われている。鮮やかな色使いで楽しそうな水浴びのシーンが生き生きと描かれている。小鳥の目線と俯瞰の対比がおもしろい。	(1) (5) (9)	
	あすなる書房	選定理由		
	マリサビーナ・ルツ／作 なかがわちひろ／訳	雨上がりの朝、小鳥が水浴びできる水たまりを探す話。小鳥が見つけた水たまりに飛び込んでくるボールや子どもや犬を表現する擬音語が効果的に使われている。鮮やかな色使いが美しく、小鳥の水浴びのシーンが生き生きと描かれている。小鳥の目線と俯瞰の対比が面白く、子どもたちが小鳥を通して、生き物を慈しみ、思いやりの心を養うことができる。		
1484	ハートの はっぱ かたばみ	小さな黄色い花が咲き、3つに分かれたハートの形の葉っぱが特徴の「かたばみ」の生態がよくわかる本で、自然を身近に感じることができる。科学絵本として正確な描写であるが、親しみやすくあたたかみがある。	(2) (5) (9)	
	福音館書店	選定理由		
	多田多恵子／ぶん 広野多珂子／え	身近な植物「かたばみ」の生態がよくわかる。家の周囲で植物を観察し、その名前や生態を知ることによって、子どもたちが自然を愛し、科学的な視点を持つことを助ける絵本である。科学絵本として、正確な植物描写がされていて、かつ、子どもに親しみやすく、あたたかいタッチの絵である。		

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1485	うめぼしさん	「うめぼしさんあかいかおしてしわよってくちにいれたらすっぽくてあかんぼうやらおとしよりやらちっともかっともわからんね」語呂合わせで小気味よい文体と共に、梅干しのでき方や種の中に座っているのが、天神様だと教えてくれる。	(2) (5) (7) (9)	
	こぐま社 かんざわとしこ／文 ましませつこ／絵	選定理由 少し前までは、梅干しを漬けることが風物詩のように当たり前の風景だったが、最近では、家庭で漬けることが珍しくなった。そんな梅干しの漬け方や梅のことを小気味よい文体とどこか懐かしい絵で、分かり易く教えてくれる絵本だ。伝えていきたい日本の伝統的な生活を語り告げる内容が素晴らしい。		
1486	サムとダイブ、あなをほる	宝を探して、どんどん穴を掘り始めるサムとダイブ。もう少しで室に到達するといところで、掘る向きを変えてしまう。いしょうけんめい穴を掘り続ける二人に、「ここにあるよ！」と声を掛けたい。でも、二人は、穴を掘ることを楽しんでるのかな？読み進むうちに、そんな疑問もわいてくる絵本だ。	(5) (6) (8)	
	あすなろ書房 マック・バーネット／文 ジョン・クラッセン／絵 なかがわちひろ／訳	選定理由 子どもたちは、穴を掘るのが大好き。穴を掘っていて、もし宝物を発掘したら…。そんなことを想像してとわくわくしながらページをめくっていきける。そして、二人に、「ここにあるよ。もう少し頑張ると声を掛けたい。そして、この絵本を読んだ後に、サムたダイブのように穴を掘りたくなるような楽しい絵本だ。		
1487	わたし、もうすぐ2ねんせい！	6年生の「おねえちゃん」が卒業する朝、1年生の妹みさとは「おめでとう」が言えず、式でピアノを弾く姉に向かって「きっとまちがえますよーだ！」なんて言ってしまう。卒業式の曲の途中でピアノが止まった…。喜びと寂しさと、バトンを受け継ぐ誇らしさが混ざり合う「いちねんせいの一年間」の成長の足跡。	(3) (4) (6) (9)	
	講談社 くすのきしげのり／作 江頭路子／絵	選定理由 「おねえちゃん」が卒業する朝。妹の「みさとは」、まだ「おめでとう」が言えていない。何度も言おうとするが、それぞれの思いがかみ合わず、「本番で、ピアノを間違えますよーだ。」なんて言ってしまった。帰り道、おねえちゃんに「おめでとう」をいうことができたみさと。そんなみさとに今度は、自分が隣の子の手を引いてあげる番だと気付かせるおねえちゃん。寂しさを乗り越えて成長するみさとの気持ちに共感できる本である。		
1488	しましまかしてください	ゾウが、ミツバチやゾウやトラや、虹にまで「しましまかしてください」とお願いして縞模様になったのには、理由があったのだ。それは、シマウマさんと友達になりたかったから。でも、友達になるには、そんなものは必要ないということに気付かせてくれる。	(2) (6) (9)	
	教育画劇 林なつこ／作	選定理由 友達になるために必要なことは、外見ではないということ、気付かせてくれるお話。美しい色使いや登場人物の表情も楽しめる絵本である。		
1489	おならくらげ	おふろでしたおならから生まれた「おならくらげ」。自分の心の中の本音を、目に見える形でわかるように表現してくれる。小学2年生のヒロキ、カンタ、クラスの友達…。「自分がいや！」「〇〇くんなんてきらい！」と思っていたマイナスの感情が、おならくらげによって解決されていく。	(3) (4) (6) (9)	
	フレーベル館 ささきあり／作 ザ・キャビンカンパニー／絵	選定理由 おならから「おならくらげ」が生まれる。そして、そのおならくらげが自分の本心を目に見える形にしてくれる。こんな思いもよらない設定が、低学年の子供たちは大好きで、疑問をもたずに受け入れることができる。小学校2年生の内気なヒロキやクラスの友達の本心が、このおならくらげのおかげで見えてしまう。「自分だけではなかった。」「あの子もこんなこと考えていたのか。」と気づき、自分を肯定できる内容。		

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1490	なかよしヤギ一家のECOプロジェクト 佼成出版社	西武池袋線武蔵横手駅には、「ヤギに線路近くの土地の草を食べてもらおう」というエコ活動のためのヤギが住んでいる。所員さんをはじめとして、保育所の子どもたちや地域の人、インターネットで知ってわざわざ見に来た人など、ヤギの家族は次第に人々から愛される人気者になっていった。手探りでスタートした活動が、やがて環境保全を考え、人々の心を癒すことへとつながっていく。埼玉県を舞台にしたノンフィクション。	(1) (3) (5) (7)	
	深山さくら／文	選定理由 西武池袋線・飯能保線所のみなさんが考えた、ヤギに線路近くの土地の草を食べてもらうエコ活動。手探りでスタートした活動が、環境保全を考え、人々の心を癒すことにもつながっていく。ヤギと人との心温まる交流が描かれている。わたしたちのふるさと「埼玉っていいところだな。」と改めて感じられる。		
1491	電車でノリノリ 文研出版	新しい学校に転入してきたノリは1ヶ月経ってもはるちゃんと咲ちゃん以外の友達ができない。前の学校ではクラスを中心にいた主人公・ノリが新しい学校でできた新しい友達との関係に悩みながらも、友達との交流を通してわかりあっていく物語。はじめは「電車を好きな人って電車オタク？」と思っていたノリだが、好きなことをみつけ、楽しむことの素晴らしさに気づいていく。	(4) (5) (9)	
	新井けいこ／作 たかおかゆみこ／絵	選定理由 「電車を好きな人って電車オタク？」と思っていたノリだったが、友達との交流を通して、好きなことを見つけ、楽しむことの素晴らしさに気づいていく。中学年の子どもたちの悩みや心の揺れについて、よく表現されている。		
1492	あひる くもん出版	「わたし」の家に1羽のあひるがやってきた。弟と一緒にかわいがったあひるは、年をとり、「わたし」の家の夕ごはんのおかずとなった。食卓に並んだ野菜とお肉の煮物…。「これ、あひるじゃないよね」という言葉に込められた「わたし」の心のゆれを丁寧に描きながら、食と命の関係を静かに力強く伝える本。えんぴつで描かれた絵が印象に残る。	(1) (6) (9)	
	石川えりこ／作	選定理由 かつて、野菜や家畜を自分の家で育てて食べるという、「命をいただくこと」が今よりもっと身近にあった。「これ、あひるじゃないよね」という「わたし」の言葉に込められた心に揺れがずしりと胸に響く。鉛筆で描かれた白黒の絵が食と命の関係を静かに力強く伝え、食べることの重さについて考えさせられる一冊。		
1493	バイバイ、わたしの9さい！ 文研出版	あとひと月で10歳になるタマラは、「世界では4秒にひとりが飢えて命を失っている」ことを知る。そしてタマラは、自分に出来ることは何か、精一杯考え、それを実行していく。大統領やサッカー界の大スター「ジダン」に直接手紙を送るタマラの行動力には驚かされる。自分の頭で深く考えることの大切さを感じることができる。	(2) (3) (6) (8)	
	ヴァレリー・ゼナッティ／作 伏見操／訳 ささめやゆき／絵	選定理由 「世界では4秒にひとりが飢えて命を失っている」と知ったタマラが自分に出来ることは何か、精一杯考え、それを実行していく行動力には驚かされる。自分の頭で考え、道がなければつくる方法を考え出していくタマラ。自分自身や好きなことには一生懸命になっても社会の動きには関心を示さずにいる子ども、そして大人にも読んでもらいたい本。		
1494	あしたがすき ポプラ社	岩手県釜石市の山あいには作られた「こすもす公園」には「きぼうの壁画」が描かれている。それは、東日本大震災で心に大きな傷を負った子どもたちに笑顔を取り戻すための「きぼうの壁画」。実際の出来事をもとに作られた物語である。	(3) (4) (5) (7)	
	指田和／文 阿部恭子／絵	選定理由 東日本大震災の被害を受けた地域には、怖い夢を見て苦しむサキのような子どもたちがたくさんいる。津波が奪ったものは人の命や家だけでなく、心にも大きな穴をあけたのだということを改めて考えさせられる。子どもたちの笑顔を取り戻すための公園づくりから広がる人々のあたたかさが色彩豊かな絵から伝わる絵本。震災を忘れてはいけなくと強く胸を打たれる。		

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1495	戦火の三匹 ロンドン大脱出 徳間書店	第二次世界大戦がはじまり、田舎に疎開するために3匹のペットを置いていくことになったロバートとルーシー。ロンドンに残されたペットたちは難を逃れ二人の住む田舎を目指す。戦時下の子ども達の様子を伝えるとともに、ペットをとおして戦争の悲惨さを伝える作品である。2匹の犬と1匹の猫が自分たちの力で生きのびる姿が生き生きと描かれている。	(1)	
	ミーガン・リクス／作 尾高薫／訳	選定理由 ペットをとおして戦争の悲惨さを伝える作品である。また、戦争中の人々の暮らしぶりや心情、子ども達の様子が読み取れる。ペットが戦火のロンドンから主人公が疎開した田舎へ向かう冒険部分に迫力があり、一気に読める。	(2) (8)	
1496	アカシア書店営業中！ あかね書房	大地は読書が好きな5年生。児童書が充実した「アカシア書店」が大好き。ところが、「売り上げを10%アップできなかつたら児童書売り場を減らす」ということに…。読書好きの主人公達は児童書コーナーを守るために行動を開始する。本と本屋さんへの熱い想いにあふれた物語である。	(4)	
	濱野京子／作 森川泉／絵	選定理由 町の書店の児童書コーナーが売り上げ減で撤廃の危機を迎える。読書好きの主人公達は児童書コーナーを守るために行動を開始する。どうしたらお客さんが増えるのか次から次へと出てくる問題に、友達と協力して解決していく主人公を応援しながら楽しく読める作品である。	(6) (7)	
1497	ニレの木広場のモモモ館 ポプラ社	5年生の転校生、モカとモモ、そして4年生のカンタは偶然出会ったその日から、児童館の壁新聞、「モモモ館」を作ることになった。出会った子ども達の友情が深まっていく様子が、いろいろな事件を通してわかりやすく描かれている。どの登場人物も、心優しく安心して読める作品である。	(2)	
	高楼方子／作 千葉史子／絵	選定理由 偶然出会った子ども達の友情が深まっていく様子が、さまざまな事件を通してわかりやすく描かれている。仲間と共に1つの目標に向かって取り組んでいく事は、高学年の子ども達の姿として理想的である。また、登場人物も人間性豊かで、心温まる作品である。	(4) (9)	
1498	いくたのこえよみ 理論社	地味で目立たないイクタが実は人の心が読めるとは。主人公オガタは彼女に弟子入りを志願し、みんなに秘密で修行を始める。図書委員のカタギリもマネージャーとして加わり、修行を続けるうちに人の心が聞こえ始める気配が…。主人公の修行の様子はひたむきで、がんばれと応援したくなる。男女3人が友情を深めていく様子はほほえましく、共感できる話である。	(1)	
	堀田けい／著	選定理由 オガタの修行が、人間としてこうあってほしいという内容であり、その修行を通して、オガタがよい方向に変わっていく様子に共感できる。修行ということがなかったら友達にはならなかっただろう3人の友情の行方も興味深かった。	(4) (9)	
1499	モンキードッグの挑戦 野生動物と人間の共存 文溪堂	サル害を防ぐために、サルを追いかけて山へと追い払う訓練をした犬、モンキードッグの活躍を描いた作品。モンキードッグのことだけでなく、イノシシ、シカ、クマなど、野生動物と人間との共存(すみわけ)をどう考えればよいか子どもたちに問いかけている。	(1)	
	あんずゆき／著	選定理由 ノンフィクションとして問題提起もされていて読み応えがある。自分たちの都合で環境を変えてきてしまった人間だが、野生動物と共存していくために、今後どうすべきか考えさせられる内容である。どうにかしたいという強い思いは「人と動物の共存」を実現できるかもしれない、それを担うのが未来の君たちでもある、というメッセージも感じさせられる。	(5) (6)	

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1500	光を失って心が見えた 全盲先生のメッセージ 金の星社 新井淑則／著	在職中に網膜剥離を患い、全盲となった埼玉県公立中学校の教師が、様々な困難や苦勞を乗り越えながら現職復歸を果たしていくノンフィクション。多くの人や盲導犬との出会いを通して、再び教壇に立つまでの道のりが描かれている。	(1) (4) (6) (7)	
		選定理由 徐々に失明していく不安を克明に記し、人生を悲観する時もあったが、多くの人や盲導犬との出会いを通して、現職復歸への歩みを進めていく。障がいを受け入れていく中で得た人生訓が散りばめられ、ノーマライゼーションが叫ばれる社会に共感を呼ぶ一書となっている。光を失ったからこそ見える人の心が伝わる。		
1501	コービーの海 鈴木出版 ベン・マイケルセン／作 代田亜香子／訳	事故で右足膝下を失い、人生に前向きになれずにいる少女コービー。右足膝下を失ったがためにむけられるクラスメイトの冷たい目や、両親の喧嘩など、辛く厳しいことが彼女を取り巻く。しかし、ある日クジラの親子を助けたことで少女は再び前に進んでゆく。	(1) (3) (4) (6)	
		選定理由 事故で右足膝下を失い、人生に前向きになれずにいる少女が、クジラの親子を助けたことで再び前に進んでゆく話。少女の苦しみや葛藤など心の動きが丁寧に描かれ、引き込まれる。自身のケガ、家族の不和など辛い内容だが、最後は家族の再出発、クジラの親子を無事に海に帰すなど、読後感が爽やかである。		
1502	すぐそこに、カヤネズミ 身近にけらす 野生動物を守る方法 くもん出版 畠佐代子／著	カヤネズミを研究する著者が、その生態や調査方法、自らが研究者になった経緯を紹介している一冊。野生動物の調査研究は、「忍耐強く探し、観察して記録する」という、誰にでもできる作業の積み重ねであり、調査対象も身近にあることを力説している。	(1) (2) (5) (6)	
		選定理由 カヤネズミを研究する著者が、その生態や調査方法、自らが研究者になった経緯を語りかけるような文体で紹介する。野生動物の調査研究は、専門の勉強を極めた人でないといけないものではなく、調査対象は身近にもあるし、忍耐強く探し観察して記録するという誰にでもできる作業の積み重ねであることを力説する。身近な自然に目を向けるきっかけになる本である。		
1503	グッドジョブガールズ ポプラ社 草野たき／著	6年生のあかり、由香、桃子は悪友同士。お互いに干渉しない、ドライな関係。家族の悩みも恋の悩みも絶対に言わない。そんな3人が、自分たちに全然似合わないチアダンスに挑戦することで「私たちの最高の思い出」づくりをすることに。しかし、少しずつ摩擦をおこしていく。いろいろな悩みを分かち合い、支え合える仲間がいる大切さを感じられる一冊。	(1) (3) (4) (6)	
		選定理由 3人が、自分たちに全然似合わないチアダンスに挑戦することで「私たちの最高の思い出」づくりをすることになったが、関係がぎくしゃくし始める。家庭の事情、親との関係、恋などどんどん増える悩みに立ち向かうには、やっぱり何でも話し合えて支え合える友達が必要なのだと共感できる。		
1504	テオの「ありがとう」ノート PHP研究所 クロディーヌ・ル・グイック＝プリエト／著 坂田雪子／訳	車いすの少年テオは周りから助けられることが多く、常に「ありがとう」と言っている。しかしある日、「ありがとう」と言うのに嫌気が差し、逆に周りから「ありがとう」と言ってもらえるよう自ら努力し、自立を目指して成長していく物語。支えてくれる家族との葛藤を乗り越え、スポーツを通じた仲間励まされながら、自分の才能を開花させていく。	(1) (2) (3) (4) (6)	
		選定理由 車いすの少年テオが、自立を目指して成長していく物語。支えてくれる家族との葛藤を乗り越え、スポーツを通じた仲間励まされながら、自分の才能を開花させていく。障がいの有無に関わらず、人間はひとりでは生きてはいけない。このことに気づき、「ありがとう」をたくさんもらえるように自ら努力を始める。この少年が困難を克服していきながら、人が生きていくうえで大切なものをさわやかに描いている。		

平成28年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1505	The Modern モダン	ニューヨーク近代美術館MoMAを舞台に繰り広げられる様々な人間ドラマを描いた短編集。心奪われる至高の美術品と忘れ得ぬ人々との出会いを通して、読者もまたモダンアートの世界に引き込まれてゆく、奥行きのある小説である。	(4)	
	文藝春秋	選定理由	(5)	
	原田マハ／著	近現代の美術品になじみのない人でも物語として十分に楽しめる上に、モダンアートがより身近に感じられる。登場する美術品や画家などに興味を持つことにより、美術鑑賞への扉が開かれるきっかけとなるに違いない。	(8)	
1506	その姿の消し方	古物市で手に入れた絵はがきにあった謎めいた十行詩。その詩篇に心惹かれ、作者とおぼしき会計検査官のアンドレ・Lを探す旅に出る一人の男。過去をさかのぼりながら、詩人を巡る人々との出会いを描いている連作短編集で、静かな余情にひたれる作品である。	(4)	
	新潮社	選定理由	(5)	
	堀江敏幸／著	会計検査官のアンドレ・Lを巡る人々との出会いを丁寧に描いている連作短編集。物語を通して、散文になじみのない若い読者に創造することの静かな感動を知ってもらいたい。	(9)	
1507	恋したひとは車いす	フリーランスのスポーツライターとして活躍する筆者が下肢に障害を持つ男性との出会いと結婚までの日々を綴った物語。軽妙で明るい語り口によって恋人や家族との会話に臨場感とドラマ性を感じさせる。共生社会に生きる私たちに新しい気づきを与え、若い読者にも共感が持てるにちがいない。	(3)	
	徳間書店	選定理由	(4)	
	酒井朋子／著	車いすで生活すること、その生活を支えることは決して特別なことではないと明快に伝えている。筆者のライターとしての第一歩が車いすテニスであったことから、パラリンピックの取材の様子なども描かれている。車いすの生活における日米比較に言及する箇所も有り、軽妙な語り口ながらユニバーサル社会について考えるきっかけとなる作品だ。	(9)	
1508	日曜日のハローワーク	「金魚チャンピオン」「聞き書き作家」「コンビニアイス評論家」など、世の中にまだ知られていない職業を紹介した一冊。インタビューで語られている様々な仕事の内容を読めば、きっと興味がわいてくる。仕事とは何かを考えるきっかけになるにちがいない。	(2)	
	東京書籍	選定理由	(3)	
	小田豊二／著	「仕事とは何か」と大上段に構えるのではなく、こんなに面白い職業がまだまだこんなにあるよ！と若者の目線で伝えていることで、青少年が改めて仕事や生き方について考えるきっかけとなる本である。	(6)	
1509	大村智物語 ノーベル賞への歩み	「至誠天に通ず(まごころをもって事に当たれば良い結果がもたらされる)」を信条とする大村智先生の伝記。研究者としての生き方にとどまらず、法人経営や人材育成、美術や教育界での活動を丹念に描いている。未来に羽ばたく若い人にぜひ読んでほしい一冊だ。	(5)	
	中央公論新社	選定理由	(6)	
	馬場錬成／著	2015年ノーベル生理学・医学賞受賞者である北里大学特別栄誉教授大村智先生の伝記である。抗生物質「エバールメクチン」の発見で熱帯地域の人々を感染症の脅威から守った大村先生は、研究環境の整備にも力を入れ、優秀な人材を育成してきた。法人経営の手腕に長け、芸術にも造詣が深い。どんなことにも一生懸命に取り組んできたその姿に共感する。次代の人材を生み出す一冊だ。	(7)	
			(8)	
			(9)	